

九州南部・奄美地方 1月の気候統計値に関するお知らせ

平成28年2月1日

鹿児島地方气象台

上旬は、期間の前半は、前線を伴った低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。後半は、気圧の谷や寒気の影響で九州南部の東シナ海側と奄美地方では曇りや雨の日が多くなりましたが、九州南部の太平洋側では高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。

中旬は、11日と17日は前線を伴った低気圧や湿った気流の影響で雨となり、17日は大雨となった所がありました。低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった日があり、九州南部の太平洋側では晴れの日が多くなりましたが、九州南部の東シナ海側と奄美地方では寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

下旬は、前線を伴った低気圧や湿った気流及び寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多くなりました。23日から25日にかけて冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が流れ込んだため、九州南部では大雪となった所があり、名瀬では24日に1901年2月12日以来115年ぶりに雪(みぞれ)を観測しました。さらに24日から25日は冷え込みが厳しく、日最高気温や日最低気温の低い方からの1月の極値を更新した所があり、沖永良部では24日に日最低気温の低い方からの年間の極値を更新しました。

平均気温は、全ての地点で「平年並」か「高い」となりました。**降水量は**、全ての地点で「多い」となり、宮崎、延岡、都城、鹿児島、阿久根、枕崎、沖永良部では「かなり多い」となりした。**日照時間は**、全ての地点で「少ない」となり、屋久島と沖永良部を除く全ての地点で「かなり少ない」となりました。

2016年1月の気候表

地点名		平均気温(平年差)	階級	降水量(平年比)	階級	降水日数	日照時間(平年比)	階級
		() ()		(mm) (%)		1mm	(h) (%)	
宮崎県	宮崎	8.1 (+0.6)	+	111.5 (175)	+*	8	152.7 (84)	-*
	延岡	7.0 (+0.4)	+	131.0 (244)	+*	8	156.9 (83)	-*
	都城	6.7 (+0.9)	+	105.0 (170)	+*	10	120.2 (72)	-*
	油津	9.0 (+0.3)		110.0 (140)	+	8	134.4 (79)	-*
鹿児島県	鹿児島	9.0 (+0.5)		159.0 (205)	+*	12	87.6 (66)	-*
	阿久根	8.0 (+0.4)		141.0 (175)	+*	13	56.5 (52)	-*
	枕崎	9.2 (+0.4)	+	182.5 (193)	+*	15	78.4 (71)	-*
	屋久島	12.2 (+0.6)		328.5 (120)	+	21	60.9 (83)	-
	種子島	12.4 (+0.9)	+	128.5 (144)	+	16	77.2 (75)	-*
	名瀬	15.4 (+0.6)	+	231.0 (116)	+	17	38.5 (64)	-*
	沖永良部	17.0 (+0.8)	+	210.5 (199)	+*	16	60.9 (72)	-

(注意)・「階級」の欄の符号は、+:高い(多い) :平年並 -:低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+」に*を付加した。この場合には +*:かなり高い(多い) -*:かなり低い(少ない)と表現できる。

・値の横に「) や]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2016年1月の順位更新表

・月日照時間の少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	平年比(%)	これまでの最少(h)(西暦年)	開始年	平年値(h)
2	都城	120.2	72	105.9 (1954)	1943	167.9
3	阿久根	56.5	52	52.1 (1963)	1940	108.3
	鹿児島	87.6	66	53.8 (1969)	1899	132.7

順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

(注意)・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。